

# 鳥取県智頭町芦津森林での動物の生息・繁殖に関する生態学的調査 No.7 (10/5/3,4)

2010年5月3日～4日の巣箱とトラップによる調査によって以下の結果が得られた。(1) 前回の調査で確認されたホンドモモンガの乳獣(4g)が今回、までの約1ヶ月の間に33gまでに成長していた(体毛は生え揃えていたが眼はまだ開いていなかった)。(2) スギ林、未成熟自然林、成熟自然林いずれの森の巣箱にもホンドモモンガが入っており、スギ林と成熟自然林で、子育て中の雌個体や、複数(2~3)個体の同一巣箱内同居が認められた。幼獣を除く12個体の内、10個体は♂であった。ほとんどの個体が130~140gであった。子育て中の雌は、それ以外の個体に比べ有意に体重が重かった。(3) 3種類すべての森でヤマガラ、シジュウカラの巣箱内営巣が認められ、ほとんどの個体が5~10個程度の卵を温めていた。(4) 同一の樹木に設置された異なる高さの巣箱を、モモンガとシジュウカラが利用している例が一例見つかった(6m高巣箱:モモンガ、3m高巣箱:シジュウカラ)。(5) 地上でのトラップにより、3個体のアカネズミと2個体のヒメネズミが捕獲された。その中に、12gのアカネズミ幼獣と9gのヒメネズミ幼獣が含まれていた。捕獲された個体は、スギ林で1個体(アカネズミ)、未成熟自然林で4個体であった。 ※  は尾のマーク

